2024年 新年のごあいさつ

宮古島市長
座喜味 一幸

新たなステージへステップアップ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政運営に対し深いご理解とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年は二〇二〇年から猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた様々な分野での活動が、コロナ禍以前と同様に行えるようになりました。

年明け一月に3年ぶりに開催された一〇〇kmワイドーマラソンを皮切りに、2月には島の一大イベントである「全日本トライアスロン宮古島大会」が4年ぶりに復活いたしました。

また、「宮古島夏まつり」や「MIYAKO ISLAND ROCK FESTIVAL」も4年ぶりに開催され、各会場ともコロナ禍以前を上回るような熱気に溢れていました。島内外の多くの方々に愛されているこれらのイベントは島の宝であり、今後も市民の皆様とともに大切にしていきたいと考えております。

改めまして、各イベントにご尽力、ご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。

各分野を振り返りますと、観光面においては、新型コロナウイルス感染症による全国的な移動・旅行の制限が緩和されたことにより、入域観光客数が大幅に増加し、昨年の2月～11月の空路による入域観光客数は過去最高となりました。また、羽田発着枠政策コンテストにより暫定配分を受けトライアル運航を行っていたスカイマーク社の羽田ー下地島線は、「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」において、二〇二五年3月29日までの配分継続が決定しました。

離島県の島嶼である本市にとって、沖縄本島及び本土を結ぶ航空路線は、住民生活においても、観光振興を推進する上においても大変重要であります。今後もエアライン各社と連携し、路線の維持拡大に取り組んで参ります。

新型コロナウイルス感染症の影響により滞っていた国際クルーズ船の受入は、昨年4月より再開し、令和6年は一三五隻のクルーズ船が寄港を予定しております。クルーズ船受入が市民の負担とならないよう、スムーズな受け入れと経済効果の最大化に務めて参ります。

開設され、一〇〇名の学生が観光のエキスパートを目指します。長年の懸案であった高等教育機関が設立される事を大変嬉しく思いますとともに、観光産業における人材不足解消についても期待しております。

都市間交流については、7月20日に、教育や産業などさまざまな分野で交流を行ってきた熊本県山鹿市と友好都市協定を締結しました。

今年も、各友好交流都市と様々な分野で交流を深め、相互理解と発展に繋げて参ります。

環境面につきましては、11月にカーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させ、全国のモデルとなる脱炭素先行地域に選定されました。二〇三〇年度までに下地地域と狩俣地域の電力の再エネ一〇〇%を目指すと同時に、地球温暖化対策に貢献する取組を進めます。また、かねてより保全が求められていた城辺保良にあるクバクンダイ鍾乳洞が、市文化財保護審議会の審議を経て、文化財（天然記念物）に指定されました。クバクンダイ鍾乳洞は、島尻泥岩層中に形成された泥岩洞で、学術的に価値が高いと評価されておりますが、近年、観光客に人気のスポットとなっており、来訪者が増えた事による環境の悪化が不安視されておりました。文化財指定を受けることで適切な保護と利活用が図られることを期待しております。

建築関連では、伊良部屋外運動施設周辺整備事業において、多目的運動場（室内練習場）とサブグラウンドが完成し、1月から供用を開始致します。今後は、プロ野球選手、海外プロ野球、国内の大学等によるキャンプを予定しており、施設の利活用を通したスポーツ振興を進めて参ります。また、市民の多様なスポーツニーズへの対応、健康増進機能の強化、興行・イベント等様々な活動が行える施設として新総合体育館の整備に取り組みます。

都市づくりにおいては、「市役所周辺まちづくり基本構想」が策定され、旧平良の庁舎利用事業者が決定したほか、今年「中心市街地活性化基本計画」について内閣府認定を受ける予定であり、今後、「みなとまちづくり基本構想」と連携した港～中心市街地～市役所周辺～空港を結んだまちづくりを進めて参ります。また、中心市街地だけでなく、地域の均衡ある発展に向けた施策として、平良地区、下地地区、上野地区、城辺地区、伊良部地区を対象とした、地域の賑わいを創出するための計画策定に取り組みます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類に引き下げられ、日常生活も新型コロナウイルス感染症拡大以前に戻りつつありますが、インフルエンザをはじめとする様々な感染症への対策はこれからも必要となります。コロナ禍で得た教訓を忘れず、外出後の手洗いや体調不良時のマスク着用などの基本的な感染症対策を引き続きお願いいたします。

令和3年1月に第5代宮古島市長に就任以来、市民ファーストを基本姿勢としながら、市民所得の向上、誰一人取り残さない社会の実現等を公約として掲げ、その達成に向けて様々な分野での取組を推進して参りました。

今年は、市長任期における集大成の年となります。公約を実現し、市民の皆様がより豊かな生活を送れるよう市政運営に邁進して参りますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

結びになりますが、本年も市民の皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

市長　座喜味 一幸
副市長　嘉数 登
教育長　大城 裕子
企画政策部長　久貝 順一
産業振興局長　下里 盛雄
総務部長　与那覇 勝重
福祉部長　松堂 英彦
こども家庭局長　仲宗根 美佐子
市民生活部長　友利 毅彦
環境衛生局長　下地 睦子
農林水産部長　石川 博幸
建設部長　川平 陽一
観光商工スポーツ部長　砂川 朗
水道部長　兼島 方昭
消防長　宮國 和幸
会計管理者　儀間 博勤
教育部長　砂川 勤
生涯学習部長　天久 珠江
議会事務局長　下地 貴之
他職員一同

謹賀新年

宮古島市議会議長
平良 敏夫

宮古島の魅力が整う年へ

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より宮古島市議会に対する深いご理解と、温かいご支援を賜り衷心より感謝申し上げる次第です。

昨年を振り返りますと、長く世界的に影響を及ぼした、新型コロナウイルス感染症への対応が緩和されたことで、停滞していた経済活動が大きく動く一方で、未だ終息への道筋が見えないロシアによるウクライナへの侵攻に加え、パレスチナ暫定自治区を実効支配するイスラム組織「ハマス」によるイスラエルへの大規模な攻撃に端を発する軍事衝突は、一般の住民を巻き込む悲惨なものであり、これらの状況を背景に続く燃料高騰や物価高の影響は依然として続いています。

そのような状況においても、我が市においては、4月に第37回全日本トライアスロン宮古島大会が一五〇〇名の参加人数と、ほぼコロナ禍以前の規模で実施することができ、また、沖縄県の畜産共進会において肉用牛の部で団体賞が惜しくも3連覇を逃す結果となりましたが、同部門で優秀賞第一席と高等登録群で農林水産大臣賞を獲得するなど、今後に繋がる明るい話題だと捉えております。

12月には、宮古島の産業特産物が一堂に会する「宮古の産業まつり」が市役所で行われました。今回はこれまで以上に趣向を凝らし「宮古島肉まつり」とコラボレーションし開催されましたが、多くの市民が会場に足を運び、宮古島の特産物を手に取り笑顔になる様子を拝見し、宮古の産業分野の発展に確かな手応えを感じると共に、宮古島市議会としましても、今後の飛躍の一助になるような取組を進める決意を新たにしております。

さて、辰年の今年ですが、「辰」は草花が成長し、形が整った状態を表すとされており、辰年には、「物事が動き整う。」とのことですので、宮古島の経済が大きく動き、宮古島全体の体制がより盤石なものとしてしっかり整い、何よりも市民の皆さまが健康で、活力にあふれる日々を過ごし、素晴らしい一年であることを心より祈念し、私の年頭の挨拶を結びたいと思います。

議長　平良 敏夫
副議長　長崎 富夫
議員　久貝美奈子
議員　下地 茜
議員　砂川 和也
議員　狩俣 勝成
議員　富浜 靖雄
議員　下地 信男
議員　新里 匠
議員　狩俣 政作
議員　山下 誠
議員　池城 健
議員　上地 堅司
議員　仲間 誉人
議員　平良 和彦
議員　下地 信広
議員　我如古三雄
議員　前里 光健
議員　西里 芳明
議員　友利 光徳
議員　上里 樹
議員　粟国 恒広
議員　上地 廣敏
議員　山里 雅彦